

大工と家具職人の手仕事 みんなで卓球ラケットづくりに挑戦



設計を担当した大敬です。今回の卓球ラケット製作のルールは、①素材の85%以上が天然木であること②本来ラバーを貼るものだがラバーは貼らないこと③有機溶剤性接着剤を使わないこと④大きさ・形状・重さに制限はなし⑤創意工夫して、腕を振って仕上げるのが課せられました。頭を使って技術を駆使して、デザインと手仕事を楽しみながら作品をつくるのが良い作品づくりにつながります。



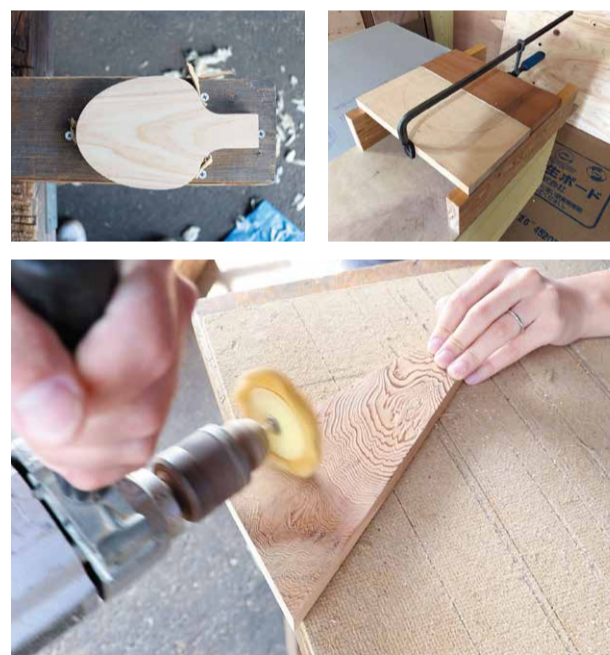
設計した大敬(左)と小栗さん(右)、棟梁が作成した面材に合わせる把手の打合せ中

大工と家具職人のコラボレーションで木の道具を制作するなんてちょっとワクワクします。ナルシマの家は木でつくる注文住宅ですが、造り付けの家具も棟梁がつくりあげます。ゆえに細かな作業にも自信を持っていますが、家具職人の繊細なディテールへのこだわりもプラスされることで、ナルシマらしさにさらに磨きがかかるのではと期待が高まります。実は、私も社長も学生時代に卓球部だったこともあり、昨年『ナルシマ卓球部』を発足。『木工房 mysa(ミーサ)』さん隣の納屋に、古い卓球台を置きたまに練習をしていましたので、今回のテーマには特に力が入ります。

ラケットのモチーフは、愛読書『danchu』という社長をはじめ、自社農場で野菜をつくったり、キャンプ好きが多かったりする食いしん坊だらけのナルシマなので、「食にまつわる道具」にすることに決めました。

家族で楽しく卓球をするイメージで、食卓を囲むようにしゃもじ型、木べら型、お皿型を私が設計。食のプロである、季節野菜のごはんやさん『テンサン』にもアドバイスを頂いて、いよいよ製作開始。

面は大工さんがつくり、握りは小栗さんが製作。面は大小の異なる面を、握りは大人用と子供用で細さや長さを変えて作ろうという話になり、いつの間にか握りも3本になって小栗さんの負担増(笑)。面は香りを楽しむヒノキ、木目の表情が豊かなスギ、2色のコントラストを使った白ラワンとマホガニー、虫食いでも他より重いケヤキ、の4種類で作成。スギは、卓球ラバーの裏ソフト・表ソフトの違いを表現するため、カンナ仕上と浮造りでそれぞれの面を仕上げるこだわりを棟梁たちと話し合っ決めてました。握りの樹種は握った時の感触の違いを利用するよう小栗さんが考えてくれ、子供の使う細く短い握りは柔らかいキリに、大人の女性用の細長い握りを赤いサクラに、大人の男性用のごつい握りを神代ケヤキにすることで決定。神代ケヤキは採女さんの秘蔵子で、「なかなか使う機会がないから」と出してきてくれました。接合部を同じ大きさにすることで、どの握りと面もキレイに合うようにデザインし、誰でも交換できるように接合方法も六角による簡単なものになりました。完成したラケットは表紙写真の通り。その出来栄に皆大満足でした！



(上左)ヒノキを使ったしゃもじ型 / (上右)白ラワンとマホガニーを合わせる加工前のお皿型 / (下)片面に浮造り加工をする木べら型

つくばモデルハウスで「大工の手」の家具を展示



つくばモデルハウスの2階に小泉誠氏デザインの「大工の手」の家具を展示。ナルシマで家を建築する際や、家具単体での販売も行っています。

「わざわ座」は「わざ=技=職人の手仕事」を「わざわざ=手間をかける=誠実に」行うプロの集団。「大工の手」は、大工とデザイナー、工務店が「手仕事」で協業する仕組みです。例えば著名な家具デザイナー小泉誠氏がデザインした家具の設計図をもとに、ナルシマの棟梁が鍛錬した匠の技で手づくりする。つくられた家具たちには、そのコンセプトと誠実さの証明として木製の公式タグを取り付けてお渡します。

ナルシマのつくばモデルハウスには、棟梁たちがつくった「大工の手」の家具が数多く展示されています。



大工の手

daiku-note



narushima staff dayori ナルシマスタッフ便り

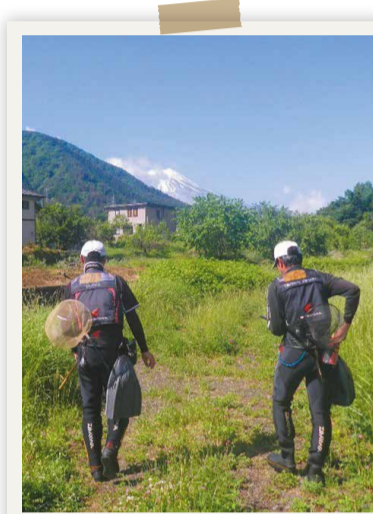


前原です。

溪流釣りのシーズンです！



趣味である溪流釣り、もうかれこれ25年位続けていますでしょうか。2月頃から彼方此方の河川で解禁となりはじめ、私は3月から本格的に始動します。20代の頃は一人で関東近辺の上流域の渓魚ばかり追いかけ、そんな中、色々な獣に遭遇したり足を滑らして崖から落ちそうになったりと、今考えると無茶な事をしてました。それから、だんだんと数釣りや大物を狙うようになり中流域での釣行が増えて、今に至りますが、仲間も増え、釣り談義がメインなんじゃないという釣行も。



釣り友と私(右)、山梨県の桂川にて奥に富士山が見える

釣った魚はリリースがほとんどだけど、たまに持って帰って、塩焼き等々。毎度のことで家族には飽きられ、冷凍庫保管状態。邪魔だっって言われちゃうし。どうにか食べてもらえるようにレシピを増やさないとなあ。今度は、甘露煮でもチャレンジしようか。成島社長宅のウッドデッキでたまに行うバーベキューでは前日朝早くから採りに行ったイワナや鮎を塩焼きにすると喜んで食べてくれる食いしん坊たちがいるので釣りがいいがあるんですね。



長野県の依田川で鮎釣り



社内バーベキューでイワナと鮎を焼く



魚食・肉食・雑食のナルシマの食いしん坊

ざいもく屋の木を楽しむかんたんDIY



木のほこ

木の香りに癒されながら「つくる」を楽しみましょう

予約方法が変更になりました。木のほこLINEよりお申込みください。



木のほこinstagram過去の作品が見れます



美しい木目の無垢パイン材で作るカフェトレイ

2/18(thu) 20(sat) 27(sat)

10:00~11:30 / 13:30~15:00 各回定員4名

予約制

木目を生かしてオイルを塗りステンシルやスタンプでオリジナルのトレイを作ります。

サイズ約42cm×30cm×深さ5cm(持ち手あり) 制作時間90分のうち外での作業があります(釘打ち・やすり掛け)

参加費 2,000円

★お持ち帰り用の袋をご持参ください。

★社会情勢の変化、コロナウイルス感染予防対策のため内容の変更または中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



今回も参加者の方に「こぶたのおやつ」さんのカットシフォンケーキをプレゼント!

取手市井野の人気のシフォンケーキのお店 毎日食べたくなるおやつ「こぶたのおやつ」 instagram▶ @kobutanooyatsu

ひのき&すぎのアロマポンポン作り

2/13(sat)

13:00~15:00 予約不要

桧や杉のかんなくずでつくる「アロマポンポン」 アロマポンポンは1個100円で何個でも製作可能。先着順。持ち帰り用袋・マスクの着用をお願いします。



ご予約手順
①上記の「木のほこ」LINEのQRコードを読み取りおともだち追加をする。
②メッセージからお名前・連絡先・参加希望日を入力して送信する。
③木のほこより受付完了のメッセージが届いたら予約完了。

DIYワークショップ 木のほこ

ざいもく屋(有)成島商店
会場 取手市駒場2-14-12

★LINE申込みが出来ない方は下記にお電話ください。

☎0120-885-119

今冬が一番寒い時期！春が来るまで体調管理を怠らなく頑張りましょう！

